○備前地方植物方言一斑

岡山縣 正宗嚴敬

凡ソ地異ニ處變ズレバ從テ其言葉ノ同ジカラザルアルハ自然ノ趨勢ナリ余幼ヨリ植物學ニ志シ聊カ我郷土附近ニ行ハル丶植物ノ方言ヲ蒐集シ多少得ル所アリ依テ茲ニ其方言ト今日廣ク植物學界ニ用ヰラレツ丶アル和名トヲ對照シ之ヲ左ニ記シ以テ斯學上ノ參考ニ供セントス、●ノ上ニ在ル者ハ通稱ニシテ其下ニ在ル者ハ方言ナリ

あまも●おごめ 蓋シ海ノ米ト言フ意ナラン果穗ハ米ヲ着ケタル觀ヲ呈ス
あせび●こごめばな 花形ヨリノ名
いたどり●さいじ又さいしんご 小兒採リ食フ
いしもちさう●はいとりぐさ
いはれんげ●かはらぐさ 瓦草ノ意、屋根ニ生ズルニヨル
うらじろ●やまくさ
えびづる●かぶ 小兒採リ食フ
かたばみ●ちぼくさ
からたち●じゃけつ
ががいも●からわた 唐綿ノ意ナリ
きづた●ごまのき 兒童此實ヲ採リ獨樂ノ如ク廻スニヨリ言フ
けんぽなし●てっぽうなし

こしだ●たでくさ 舟ヲタデル(燻べ燒クコト)ニ用ウルヨリ來ル
じゃのひげ●くすだま又すくだま
すもも●すんめ 酸梅ナリ
せんなりほほづき●たんぽほほづき 畑ノほほづきノ意ヨリ來リタル名
つゆくさ●ぎいすぐさ 此草ヲきりぎりすニ食ハシムルヨリ此名出デタルナリぎいすトハきりぎりすの方言ナリ
つた●めっつり 此葉柄ヲ以テ目ヲ上下ニ張ラシメテ小兒ノ遊ブヨリ來ル名
つりがねにんじん●すずばな 花ノ形ニヨリテ言フ
てんもんどう●ほたるぐさ 螢ノ籠ノ中ヘ入ル故云
とりかぶと●かぶとぎく

ねずみさし●もろまつ
はこべ●ひよこぐさ 雛ニ食ハスヨリ名ク
ひがんばな●きつねばな
へくそかづら●したまがり
ほくろ●ぢいばあ
ほとけのざ●くるまばな 葉ヲ兩端ニ着ケ置キテ上下ノ莖ヲ切リ去リ其兩葉間ニ於ケル莖ノ中央ニ横ニ松葉ヲ通シ葉ヲ吹テ廻ス故名ク
りゅうのうぎく●のぎく
りんだう●ほこばな 花冠ガ矛ノ如ク尖リタルヨリ言フ
をかとらのを●やまたばこ

○『本草綱目啓蒙』ニハ四種ノ版ガアル

牧野富太郎

本草綱目啓蒙ニハ四種ノ版ガアル

小野蘭山（蘭山ハ號デアル、名ハ職博、京都ノ人デアルガ後チ幕府ニ辟レテ江戸ニ住ンダ）ノ口授シタ講義錄（本草紀聞ト名ケ入門弟子ノ筆記シタモノガ今往々世ニ存シテ居ル）ヲ孫ノ蕙畝小野職孝ガ門人岡村春益ト之ヲ整理シ蘭山ノ手訂ヲ經テ出版シタモノガ本草綱目啓蒙デアル此本草綱目啓蒙ハ世間デ有名ナ書デ斯學界ニ在テ極メテ貴重且有益ナル寶典ノ一デアル（上ニ掲ゲシ蘭山ノ肖像ハ重訂本草綱

本草綱目啓蒙ニハ四種ノ版ガアル

(甲)

享和三載癸亥春二月雕刻
蘭山小野先生口授
本草綱目啓蒙
板貯衆芳軒之書藏

(乙)

蘭山小野先生口授
本草綱目啓蒙
文化八年辛未載夏六月重刻
板貯衆芳軒之書藏

(丙)

梯南井口先生補正
重修本草綱目啓蒙
學古館藏版

目啓蒙ヨリ複寫シタ者デアル、白井博士ノ増訂日本博物學年表ニハ其全像ガ寫シテアッテ此レニ說明ガ付シテアル即チ『此圖ハ先生八十一歲ノ肖像ニシテ門人谷文晁ノ寫ス所ナリ初メ右面ヲ寫ス意ニ適セズ且左ノ肩ニ瘤アリ是晚年ニ生ズル所相者觀テ壽癭ナリト云フ是ヲモ寫スベシトテ再ビ左面ニ改メ癭ヲ認メ得タリ蘭山日ク可ナリト之ヲ子安部義有ニ附與シ保存セシム即チ此圖ナリ』デアル、重訂啓蒙ノモノハ其上半身ヲ環内ニ容レテ寫シタモノデアル

私ハ私ガ植物ノ名ヲ覺エ實物ヲ識リシコトニ就テ此書ニ負フ所ガ非常ニ多イ即チ私ノ少年時代ニ在テ植物ヲ覺ユル抑モノ始メニ郷里土佐ノ佐川町ニ在リテ晝夜絶エズ繙イタモノハ此書デアッタ當時私ノ繙閲シタノハ重訂本草綱目啓蒙デアッタ此私ノ使用シタ所謂手澤本ハ先年同好ノ士ノ武田久吉君ニ讓ッタカラ今日デモ多分同君ノ手許ニアルデアラウト思フ、郷里デ其時大坂表ヘ註文シタ此書ガ私ト同町ノ一洋物店兼書籍店ヘ屆イタ時ニ私ノ友人ノ堀見克禮(カツヒロ)君(今大坂醫科大學ノ敎授)ガ私ノ出先キヘ走ッテ來テ「重訂啓蒙ガ來タ」ト知ラシテ吳レタ時ノ嬉シサハ今日デモ尙忘レズニ在リ在リト覺エテ居ル

本草綱目啓蒙ニハ四種ノ版ガアル

(丁)

弘化丁未仲夏新鐫
蘭山小野先生口授 關 恒孝
蕙畝小野先生録 南川 謙 仝校
樂三井口先生重訂 井口綏之
本草綱目啓蒙
岸和田邸學藏版

(戊)

弘化丁未仲夏新鐫
蘭山小野先生口授 關 恒孝
蕙畝小野先生録 南川 謙 仝校
樂三井口先生重訂 井口綏之
本草綱目啓蒙
白鶴園藏版

此本草綱目啓蒙ニハ四通リノ版ガアル卽チ其第一版ハ本書最初ノモノデ全部二十七卷ヨリ成リ著者ノ家卽チ小野家ナル衆芳軒デ出版シタモノデ「板貯衆芳軒之書藏」ト記サレテアル其出版年月ハ享和三年(西曆一千八百三年、今ヨリ百十六年前)二月デ其書ノ見返シハ(甲)ノ如ク其色ハ黃デアル表紙ハ菊唐草模樣ノ萠黃色デ表題ハ單ニ「本草綱目啓蒙」トシテアル

第二版ハ文化八年(西曆一千八百十一年、今ヨリ百八年前)六月ニ同ジク衆芳軒デ重刻シタモノデアッテ第一版ト同樣二十七卷ヨリ成リ內容モ敢テ其レト異ナル所ガナイ又別ニ特別ナル序文等モナイカラ何故ニ重刻シタノカ分ラヌガ多分其原トノ板木ガ火災ニデモ罹ッテ烏有ニ歸シタカラデハナカラウカト想フ其見返シノ文字ハ(乙)ノ如クデアル此重刻本ハ第一版ト同ジク表紙模樣ハ菊唐草デアルガ然シ其色ハ靑イ但シ見返シハ第一版ノ通リ黃色デアル此版ハ全部再刻シタモノデアッテ決シテ第一版ノ板木ガ殘ッテ居ッテ其レヘ補刻シタノデハナイ表題ハ第一版ト同ジク單ニ「本草綱目啓蒙」デアル

第三版ハ「重修本草綱目啓蒙」デアル全部三十六卷ヨリ成リ天保十五年卽チ弘化元年(西曆一千八百四十四年、今ヨリ七十五年前)ノ秋ニ學古館藏版トシテノ出版デアル木製ノ活字版卽チ所謂木活本デ南洋梯謙ガ補正シタ

モノデアル其レ故書中諸處ニ増トシテ同氏ノ補説シタモノガ載セテアル此第三版即チ重修版ハ衆芳軒ノ板木ガ焼ケテ無クナリ行本ガ乏シクナッタカラ新タニ印行ニ着手シタモノデ梯氏ノ序文中ニ「惜其板罹災。先生之苦心成灰。謙夙志斯學。因謀重刻。……於是遂校補而重刻之。」ノ語ガ見エテ居ル表紙ハ綾子(リンズ)模様ノ青色、見返シハ黄色デ其文字ハ(丙)ノ如クデアル

第四版ハ即チ重訂本草綱目啓蒙デアッテ啓蒙中ノ最モ能ク訂修セラレタモノデアル全部二十卷ヨリ成リ弘化四年(西暦一千八百四十七年、今ヨリ七十二年前)ノ夏ニ出版セラレ樂三井口望之ノ重訂シタモノデ泉州岸和田藩ノ發行デアル其見返シハ(丁)(戊)ノ如ク左隅ニ岸和田邸學藏版トシタモノト白鶴園藏版トシタモノトノ別ガアルガ前者ハ初メニ摺ッタモノ後者ハ次ニ摺ッタモノデアルコトガ推察セラルヽ又見返シノ用紙ニハ紅唐紙ノモノト白和紙ノモノトノ二ツガアル又表紙ニ黄表紙ト青表紙トガアル又此重訂版ニハ薄葉摺ノモノモアル

右ノ重訂版ノ姉妹本ニ別ニ本草綱目啓蒙圖譜ト題スル圖譜ガアッテ四卷ハ出版セラレタガ其後冊ハ遂ニ世ニ出デズシテ仕舞ッタ此重訂版ニハ本ニヨリテ此四冊ノ圖譜ガ添フテ居ルモノト居ラヌモノトガアルガ是レハ元來ハ別ノ書デアルカラ添ハナイノガ本當デアル其見返シハ宛モ重訂本草綱目啓蒙ト同ジク左隅ニ岸和田邸學藏版トアル然シ啓蒙ノ樣ニ白鶴園藏版トシテアルモノモアルカモ知レヌガ私ハマダ之レヲ見ナイ、ソシテ此圖譜ハ嘉永二年(西暦一千八百四十九年、今ヨリ七十年前)ノ秋ノ出版デアル此書ノ表紙ニハ私ノ知ル所デハ黄色ノモノト滋色ノモノトノ二ツガアル滋色ノモノハ最初ニ摺ッタモノデ圖ガ鮮明デアル、元來本書ハ全部四十八卷合本若干卷デ完結スル豫定デアッタコトガ「樂三井口先生編述目錄」ノ廣告中ニ見エテ居ル(同氏ハ尚、本草綱目啓蒙補遺四十八卷、本草綱目啓蒙補遺圖譜四十八卷、救荒本草圖解四卷、本草綱目異同辨十五卷、本草綱目類方抄二卷、藥料食品能毒便覽三冊、柏樹考一卷ノ數部ノ書ヲ出版スル豫定デアッタコトガ同廣告中ニ見エテ居ル)

本草綱目啓蒙本家ノ小野家デハ蘭山先生ノ孫ニ當ル蕙畝小野職孝ガ啓蒙中ノ物名ノ索引八卷ヲ編シテ之ヲ本草

啓蒙名疏ト名ケ文化六年（西曆一千八百九年、今ヨリ百十年前）四月ニ出版シタ其表紙ハ矢張本草綱目啓蒙ノ第一版即チ初版ノモノト全然同樣デ菊唐草模樣ノ萠黄色デアル此初摺ノモノニハ卷首ニ屋代弘賢ノ序文ガ附イテ居リ見返シハ青色デアル、又本書ノ後摺ノモノハ第二版ノ啓蒙ト同一ノ青色表紙デ其見返シハ黄色デアル此後摺本ハ蓋シ啓蒙第二版ノ發行ト同時ニ印刷シテ世ニ出シタモノデアラウト思フソシテ其板木ハ初摺ノモノト全ク同一デアル

○斷枝片葉（其九）

牧野富太郎

●つめくさノ意義　歐洲ノ原產デ Trifolium repens L. ト稱スルまめ科植物ノ多年草ガアッテ牧草トナッテ居ル俗ニ White Clover トモ Dutch Clover トモ稱スル我邦デハ始メ之ヲおらんだげんげト云ッタガ今日デハ一般ニつめくさト呼ンデ居ル此おらんだげんげノ名ハ飯沼慾齋ノ下ス所デ其著草木圖說卷ノ十四ニ『按此種葉ハ苜蓿(マゴヤシ)ノ屬ノ如クナレドモ、花形實狀ニアッテハ紫雲英ノ屬タルコト斷然タリ、故ニ余之ヲ苜蓿葉ノ紫雲英又オランダゲンゲノ名ヲ下シテコヽニ列ス』ト記シテアル又之ヲつめくさト云フノハ即チ「詰メ草」ノ意デ是レハ遠西舶上畫譜卷ノ四ニ『弘化二乙巳年和蘭ギヤマンノ花燈ヲ貢グ其筥ヲ草ヲ以テ詰來リシ其草ノ實ヲ地ニ下シテ生ズ云々』ト記スル如ク筥ノ中ノ詰メ草ニ之ヲシタモノデ恰ド鉋屑ナドヲ詰メル場合ヲ此草ノ乾カシタモノデ詰メ來ッタモノト見エル然シ是レハ牧草トシテ採リ入レテアッタモノヲ一時利用シタモノカ或ハソレトモ此樣ナ場合普通ニ此乾草デ詰メルモノカ其邊ノ事ハ分ラヌガ兎モ角モ前記ノ如ク詰メ來ッタモノデアッタカラ之ヲつめくさト後ニ呼ンダモノデアル此時代我邦デハ本屬即チ Trifolium 屬ノモノハ多分唯此種ノミニテアリシナランガ其後間モナク同屬中ノ他ノ品種ガ渡來シ次デ來タモノハ蓋シ Red Clover 一名 Purple Clover ナル Trifolium